

平成30年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	河川整備課
実施機関	徳島県土整備局(徳島)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名		
事業の規模・状況	7.5 km	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

園瀬川流域では、無堤地区の浸水被害や既設堤防の漏水被害が度々発生しているため、早期に治水安全度を確保するため河川改修事業を実施している。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	騒音・振動	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
				○						○	○

【特に配慮した環境要素と実施事項】

園瀬川では、河川工事に伴う事前の植物調査において、重要種であるフジバカマ(環境省版レッドデータブック:準絶滅危惧種、徳島県版レッドデータブック:絶滅危惧ⅠB類)の生育が複数箇所確認されたため、工事実施前に工事済みの堤防区間に移植を行った。(H22～H26年度)
移植から数年が経過しているため、モニタリング調査を行い、移植後の定着状況を確認した。

【目標に対する達成状況】

移植から数年が経過しており、移植した株は枯死しているものもあるが、新たな株も確認され、自然状態で繁殖していることが確認された。これにより、河川工事で失われる環境と同等以上の環境が保全、創出され、河川工事による影響を回避することができた。

【実施事項に対する評価】

実施者	今後もモニタリング調査を継続し、必要に応じて対応措置を行うことで、さらに移植の効果を高め、フジバカマの移植及びモニタリング調査で得られた知見を整理し、今後の保全措置に反映していく。
主管課	河川改修後も多様な生物が生育できる環境が創出されていることが確認された。引き続き、河川環境の整備と保全に取り組んで参りたい。
専門家	調査データに基づき、専門家の意見を聞きながら配慮対策を行っており、希少植物の生育が守られている。今後もこのような活動を続けていただきたい。

位置図・平面図等

工事済み堤防の法面の7箇所にフジバカマの移植を行っている。



写真、図面等

モニタリング調査結果

No.1, No.2, No.6, No.7は生育が認められなかった。ただし、近傍に新たにNo.4', No.4'', No.5', No.6' が生育し、自然状態での繁殖が確認された。

	春季調査 (H30.5.24)	補足調査(H30.9.14)	秋季調査 (H30.10.23)
No.1	×	×	×
No.2	×	×	×
No.3	○	●	●
No.4	○	●	●
No.4'	-	●	●
No.4''	-	●	●
No.5	○	●	●
No.5'	-	○	●
No.6	×	×	×
No.6'	○	○	△
No.7	×	×	×

- ・・・開花している
- ・・・開花していない
- △・・・枯死しているが近くに小さい株あり
- ×・・・確認されなかった

